

2月定例会本会議(3月19日) くれまつ順子議員

## 日本共産党が予算組み替え動議を提出

# 不要不急の大型開発や金持ち減税をやめて 介護保険料を据え置き、給食費無料化などに回す



日本共産党名古屋市議団は3月19日、議長に予算組み替え動議を提出、くれまつ順子議員が提案説明を行いました。くれまつ議員は、「予算案は、大企業・大金持ち減税を続けながら、減税をテコに、市民サービスの削減、福祉・教育の民間委託、民営化を進めるものとなっている」として抜本的な予算組み替えを行い再提出するよう求めました。

組み替えのフレーム

		事業費	うち一般財源	うち市債
生み出す財源を	むだな事業の削減	58億円	20億円	29億円
	減税の中止	121億円	142億円	0円
	計	179億円	142億円	29億円
活用する財源の	福祉・暮らしの事業を増額	142億円	142億円	0円

ムダな事業をやめて20億円の一般財源を生み出し、借金29億円をやめます。金持ち減税をやめて121億円。計142億円で福祉・教育・暮らしの拡充を行います。

くれまつ議員は、組み替えの基本方向として以下の点を提示しました。

## 大企業・金持ち減税や天守閣復元、名駅周辺開発等をやめる

大企業・大金持ち優遇の市民税減税を中止し、税収を121億円増やします。新たな税金の浪費につながる名古屋城天守閣の木造復元やリニア関連の名古屋駅周辺開発事業、笹島巨大地下通路整備などをやめ、合わせて142億円の一般財源を確保します。

## 生み出した財源で福祉・暮らし・子育て支援の予算を増やす

この財源を活用して、市民の暮らしや子育て応援、教育の充実などをはかります。

## 小学校給食費無償化などで 子育て世帯の負担軽減を

小学校給食費の無償化に41億8千万円、子どもの医療費無料制度の18歳までへの拡大に14億9千万円、国民健康保険料の子どもの均等割の廃止に18億円充当して、子育て世帯の経済的な負担を軽減します。

## 少人数学級の拡大などで 教育環境の拡充を

小中学校の少人数学級を小学校は3年生まで、中学校は2年生まで拡大し、学校図書館司書を小中学校の全校に配置します。また、高校生給付型奨学金の支給対象を1・2年生の非課税世帯すべてに拡大し、私立高校授業料補助を拡充するなど教育を充実させます。

## 介護保険料の値上げ中止を。 商店リフォーム助成で仕事おこしを

介護保険特別会計に33億円余の財源を繰り出して、介護保険料の値上げを中止し、高齢者の負担を増やしません。住宅リフォーム助成や商店リフォーム助成の創設で暮らしを向上させ、中小企業・業者の仕事おこしを進めます。

## 自・公・民・減が反対

組み替え動議は、日本共産党以外の全会派が反対し、否決されました。

### 組み替えの主な内容

- ①金持ち減税をやめ、むだを削って142億円を生み出す
  - ・市民税5%減税 121億円
  - ・リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりの推進 2億7600万円
  - ・名古屋駅周辺地下公共空間整備 1億6020万円
  - ・名古屋城天守閣事業への貸付 5億2992万円
  - ・議員の海外視察費 1400万円
  - ・国直轄道路事業負担金の支出(近畿自動車道伊勢線新設) 32億円
- ②市民の福祉や暮らし、子育て支援の予算を増やす
  - ・国民健康保険料の子どもに関わる均等割の廃止(18歳未満対象) 18億5800万円
  - ・介護保険料の値上げ中止 33億8063万円
  - ・18歳までの医療費無料化 14億9000万円
  - ・奨学金返還支援制度の創設 500万円
  - ・商店リフォーム助成の創設 5000万円
  - ・高等学校給付型奨学金の支給対象の拡大(全非課税世帯対象) 1億3536万円
  - ・小学校3年生までの30人学級拡大と中学校2年生までの35人学級拡大 21億4020万円
  - ・小学校給食費の無料化 41億8000万円
  - ・中学校図書館司書の全校配置 2億2330万円